



「茂林寺沼湿原」保全・活用100年プロジェクト

館林市教育委員会

事業概要

日本有数の低層湿原「茂林寺沼湿原」の健全化を図るため多様主体との連携体制構築や魅力発見調査、維持管理トライアルに取り組む。また、廃ヨシ活用商品やエコツーリズム創出を図り、100年後の茂林寺沼湿原継承に向けて、地域ぐるみでの「里沼」(人が適度に関わることによって良好な環境が維持される沼)再生事業の展開や自走サイクル確立を目指す。



今年度取り組み内容

取組(1) 茂林寺沼湿原100年会議の構築

- 多様主体によるプラットフォームを構築し、情報交換やアクション策定を行う。

取組(2) 魅力発見調査「茂林寺沼タイムス」

- 地元小学校児童がフィールドワークや取材を通して魅力を発見し、情報発信する。

取組(3) 地域活動者による維持管理トライアル

- ヨシ刈や外来種駆除など維持管理活動の体験会を実施し、次世代を担う人材を育成する。



今年度成果



取組(1) 茂林寺沼湿原100年会議の構築

- 8/30(土)「第1回会議」 ● 11/9(日)「第2回会議」 ● 1/31(土)「第3回会議」予定

取組(2) 魅力発見調査「茂林寺沼タイムス」

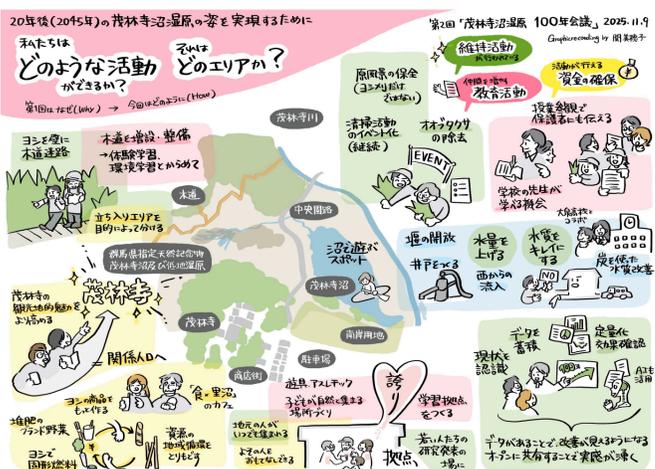
- 7/17(木)出前授業「茂林寺沼を知ろう」 ● 9/19(金)「フィールドワーク」
- 2月末に「茂林寺沼タイムス」発行！

取組(3) 地域活動者による維持管理トライアル

- 10/4(土)「キショウバスターズ」 ● 11/23(日)「ヌマヨシカッターズ」
- 1～2月にも活動予定

次年度以降の目指す方向性

今年度の取組を継続しつつ、次年度は大学や研究者と連携した①水質浄化に向けた調査・実証実験を行う。また湿原の見所や貴重動植物データをデジタル化し②貴重動植物解説マップを作成する。令和9年度以降も地域活動者や地元高校等と協働しながら、茂林寺沼湿原の資源を活かした廃ヨシ利活用商品やサステナブルツアー造成などを展開する。これらにより、人と湿原の関係の結び直し(「里沼」の再生)を目指す。



問い合わせ先

館林市教育委員会 担当:吉村・栗原

電話:0276-74-4111 メール:bunka@city.tatebayashi.gunma.jp